【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成18年3月23日(2006.3.23)

【公開番号】特開2002-198756(P2002-198756A)
【公開日】平成14年7月12日(2002.7.12)
【出願番号】特願2000-397598(P2000-397598)
【国際特許分類】
Ｈ０３Ｇ　3/30　(2006.01)
Ｈ０３Ｆ　1/52　(2006.01)
Ｈ０３Ｆ　3/217　(2006.01)
Ｈ０３Ｆ　3/68　(2006.01)
Ｈ０３Ｇ　11/00　(2006.01)
Ｈ０４Ｒ　3/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０３Ｇ　3/30　Ｅ
Ｈ０３Ｆ　1/52　Ｚ
Ｈ０３Ｆ　3/217
Ｈ０３Ｆ　3/68　Ｂ
Ｈ０３Ｇ　11/00　Ｚ
Ｈ０４Ｒ　3/00　３１０

【手続補正書】
【提出日】平成18年2月2日(2006.2.2)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　複数の信号増幅部と、前記信号増幅部の各々に電力を供給する電源部と、前記信号増幅部の各々を経由する信号の電力を測定及び制御する制御部と、を含む電力増幅装置であって、
前記信号増幅部の各々は、制御信号に応じて入力信号の電力低減をなす入力低減手段と、
前記入力低減手段を経た信号を増幅する電力増幅手段とを含み、
前記制御部は、前記信号増幅部各々の前記電力増幅手段の入力及び出力信号の少なくとも一方の大きさを測定する信号測定手段と、
前記信号測定手段によって得られる測定値に基づいて、前記信号増幅部の出力電力の和を算出する電力算出手段と、
前記電力算出手段によって得られる電力算出値と予め定めた前記電源部の電源容量に基づく値とを比較する比較手段と、
前記比較手段の比較結果に基づいて、前記入力低減手段をして前記電力算出値が前記電源容量の範囲内に収まるような制御をなす前記制御信号を生成する制御信号生成手段と、を含むことを特徴とする電力増幅装置。
【請求項２】　複数の信号増幅部と、前記信号増幅部の各々に電力を供給する電源部と、前記信号増幅部の各々を経由する信号の電力を測定及び制御する制御部と、を含む電力増幅装置であって、
前記信号増幅部の各々は、制御信号に応じて入力信号の電力低減をなす入力低減手段と、

前記入力低減手段を経た信号を増幅する電力増幅手段とを含み、
前記制御部は、前記信号増幅部各々の前記電力増幅手段の入力及び出力信号の少なくとも一方の大きさを測定する信号測定手段と、
前記信号測定手段によって得られる測定値に基づいて前記信号増幅部の出力電力の和を算出する電力算出手段と、
前記電力算出手段によって得られる電力算出値に基づいて、前記電源部における温度上昇を算出する電源部温度上昇予測手段と、
前記電源部温度上昇予測手段によって得られる温度上昇予測値と予め定めた所定の上限温度上昇値に基づく基準値とを比較する比較手段と、
前記比較手段の比較結果に基づいて、前記入力低減手段をして前記温度上昇予測値が前記上限温度上昇値の範囲内に収まるような制御をなす前記制御信号を生成する制御信号生成手段と、を含むことを特徴とする電力増幅装置。
【請求項３】　複数の信号増幅部と、前記信号増幅部の各々に電力を供給する電源部と、前記信号増幅部の各々を経由する信号の電力を制御する制御部と、を含む電力増幅装置であって、
前記信号増幅部の各々は、制御信号に応じて入力信号の電力低減をなす入力低減手段と、
前記入力低減手段を経た信号を増幅する電力増幅手段とを含み、
前記制御部は、前記電源部の温度を測定する温度測定手段と、
前記温度測定手段によって得られる温度測定値と予め定めた所定の上限温度に基づく基準値とを比較する比較手段と、
前記比較手段の比較結果に基づいて、前記入力低減手段をして前記温度測定値が前記上限温度の範囲内に収まるような制御をなす前記制御信号を生成する制御信号生成手段と、を含むことを特徴とする電力増幅装置。
【請求項４】　前記入力低減手段は、前記制御信号に応じて入力信号の振幅を低減することを特徴とする、請求項１乃至請求項３の何れか１に記載の電力増幅装置。
【請求項５】　前記電力増幅手段としてＤ級電力増幅回路を用いることを特徴とする請求項１乃至請求項４の何れか１に記載の電力増幅装置。